

重症心身障がい児・者シンポジウム

2017 in 長野

「家族の思いに、地域の支えは応えられているのか？」

経管栄養や痰の吸引等の医療的ケアの必要な人たちは、「家族と一緒に暮らす」という当たり前のことでも、大きな負担を強いられながら生活しているのが現状です。子どもの頃は、病院から退院して以後、子どもさんの成長とともに新たな出産があったり、就学したり・・・。また、学校卒業後は、日中活動先の確保や短期入所先探し・・・、介護者の親の介護も抱える等様々な状況に直面します。

今回は、家族と一緒に暮らしながらライフステージごとに様々な課題に直面し対処してきたお二人のお母さんに登場して頂きます。これまでの地域のサービス体制は整っていたのか？現在かかえる課題や今後の課題等について語って頂きます。また、医療機関との関わりをどう切り開いて行くか？今後取り組むべきことは何か？どう取り組んでいけば良いのか？等々を皆さんと共に探りたいと思います。

日時：平成29年11月11日(土) 13:30～15:45

(受付：13:00～)

場所：児童発達支援センター にじいろキッズらいふ 2F 多目的室

長野市若里 6-6-14 (長野市保健所から東へ100m)

基調報告

「重症心身障がい児者と医ケア児者の課題と支援者側の体制の課題、

(13:30～)

医療にできることの開拓

亀井 智泉氏 (長野子ども療育推進サークル ゆうテラス)

シンポジウム

テーマ 「ライフステージにおける家族の思いに

(14:00～)

地域の支えは応えられているのか？」

助言者

亀井 智泉氏 (前掲)

シンポジスト

久保田 久美子氏 (Sさんの母)

大久保 千枝氏 (相談支援専門員 篠ノ井愛の樹園)

中村 敏子氏 (Yさんの母)

塩原 康二氏 (相談支援専門員 ほっとらいふ相談室桃の郷)

清水 隆一氏 (医療法人コスモス会 コスモス在宅クリニック院長)

コーディネーター

吉澤 利政氏 (長野市障害ふくしネット医療的ケア支援委員会委員長)

■定員：100名

■参加費：無料

■参加者：ご本人、ご家族、医療・福祉・行政・教育関係者

■申し込み：別紙申込書を FAX してください。

■お問い合わせ：長野県社会福祉士会事務局 026-266-0294

◎駐車場が少ない為、なるべく公共交通機関をご利用ください。休憩スペースがあります。

主催：公益社団法人 長野県社会福祉士会

後援：長野県社会福祉協議会

